

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04030130

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	町民主体のまちづくりの推進	事業優先度	B		
単位施策	1	地域づくり活動の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町自治会連合会補助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	4 住民生活課		
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	団体の安定運営			#N/A		
事業目標	1団体		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	自治会連合会への加盟	関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	雄武町自治会連合会補助事業	自治会連合会補助金				
	自治会相互の連携を図り、その活動を通じて住民生活の向上を図るもので、今後加盟する自治会を増やし、行政と単位自治会との連携協力活動を推進する。 ※現在22自治会加盟。					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	1,250	250	250	250	250
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,250	250	250	250	250	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	500	250	250	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	500	250	250			
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 市街地区敬老会の開催や自治会の実態調査を行うなどの活動を行っており、単位自治会の連携・協力を推進している。 (現在22自治会加盟)  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 市街地区敬老会の開催や自治会の実態調査を行うなどの活動を行っており、単位自治会の連携・協力を推進している。 (H26年度末現在26自治会加盟)  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1団体	1団体	1団体	1団体
	(継続有り)	年度達成率	100%	100%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	20%	40%	40%	40%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			

事業名	雄武町自治会連合会補助事業	評価者	管理職 職氏名	住民生活課長	淡路 至尊
		評価者	作成者 職氏名	住民活動係主査	小野 隆行

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町自治会連合会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	自治会連合会加盟数、連合会加盟率	
【抱える課題やニーズは】	加盟率が3/4に留まっており、全自治会の集合体とはなっていない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内の全自治会が加盟し、地域づくりの一翼を担う組織として機能する。	① 連合会加盟率(自治会数) 加盟自治会/町内自治会	目標年度	平成26年度
			目標値	29自治会
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	各単位自治会のまとめ役として、行政との連携や自治会間の課題解決を図る組織となる。	② 連合会加盟率(世帯数) 加盟世帯数/町内世帯数	実績値	26自治会
			達成度	89.7%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	運営費補助金の交付	安定した組織運営を支援するため、運営費補助を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	各単位自治会の集合体として相互の連携とその活動を通じて住民生活の向上を図るとともに、自治会連合会の安定した組織運営のため必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	複数の自治会を対象とした各事業(市街地区敬老会、自治会対抗パークゴルフ大会、札幌雄武会総会の参加等)を展開している。また、連合会未加盟の単位自治会に加盟促進を図り、4自治体が新規加盟となった。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各種事業を通じた自治会間との交流により、地域づくりに対する意識の高揚が図られた。また、事業内容を見直し連合会としての重点事業に予算を再配分するなど効率的な事業展開が行われている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	単位自治会の連合体として、間接的に殆どの町民が加盟する団体であり、また市街地区敬老会では、未加盟自治体の参加を認めているなど、公平と判断される。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
連合会では計画どおりに各事業が実施されており、地域づくり活動を担う組織として機能している。また、未加盟自治会への加盟促進事業では、新規に4自治体の加盟となった。		



継続/現状維持		
未加盟となっている残り4自治体の加盟促進に期待するとともに、地域づくり活動を担う組織として今後も支援を継続する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了     休止     廃止